

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	LED防犯灯一括整備・管理事業				会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課				
施策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保			主管課長	樋口 洋徳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	夜間における通行者の安全を確保し、路上等犯罪を減らし、安心して暮らせるまちづくりを推進する。
事業内容	民間の省エネルギー化（ESCO）事業を活用し、自治会所有の蛍光灯防犯灯をLEDに一齐交換後、市へ移管してもらい、平成28年度から平成37年度までの10年間の維持管理を行うとともにLED防犯灯の新規設置等を行っていく。			
事業開始から現在までの状況変化	市内防犯灯の早期LED化と自治会の負担軽減を図るため、自治会所有の蛍光灯防犯灯を平成27年度にLED交換後、市へ移管していただいた。平成28年度からは、電気料を含めた維持管理を市が行ない、新規設置等については、自治会からの要望に基づき行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	新規設置防犯灯数	419	312	345	灯	↑↑↑
②	管理防犯灯数	16,319	16,677	17,030	灯	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	防犯灯の設置や不点灯等の維持管理について自治会に関わっていただくことにより、地域の防犯意識の醸成にもつながる。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	自治会の協力のもと345灯の防犯灯を新規設置した。防犯灯の設置及び維持管理は地域の協力が不可欠である。これまで自治会で防犯灯の設置及び維持管理を行ってきた経緯を踏まえ、新規設置要望や不点灯等の故障連絡は自治会の協力をいただきながら行っている。夜間パトロールを行いながら防犯灯の不具合をチェックしている自治会もあり、防犯灯に関わっていただくことで地域の防犯意識の醸成にもつながっている。
事務事業の総コスト(a=b+c)	40,038,520	39,863,680	39,743,680	
事業費(b)(円)	33,173,520	33,151,680	33,151,680	
うち一般財源	33,173,520	33,151,680	33,151,680	
職員給与と費(c)(円)	6,865,000	6,712,000	6,592,000	
人役・職員(人)	1.00	1.00	1.00	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	効率よく防犯灯の設置工事ができるような事業者と工事の流れについて協議する。	③取組における課題(Check)	要望受付期間を決めたことで自治会において行う手続きが分かりやすくなった。また、市及び事業者も手続きが分かりやすくなった。
②H30に実施した取組(Do)	事業者と協議し、毎月の要望受付期間を1日～20日に設定し、市は月末にまとめて工事発注する形となった。防犯灯マニュアルに記載し各自自治会へ周知を図った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	効率よく防犯灯設置ができるような事業者との協議を継続して行っていく。